



INFRONEER Medium-term Vision 2027

中期経営計画
アナリスト向け説明会



April 11, 2025

Challenge the status quo

■ 中期経営計画の位置づけ

(INFRONEER Medium-term Vision 2027資料の再掲)

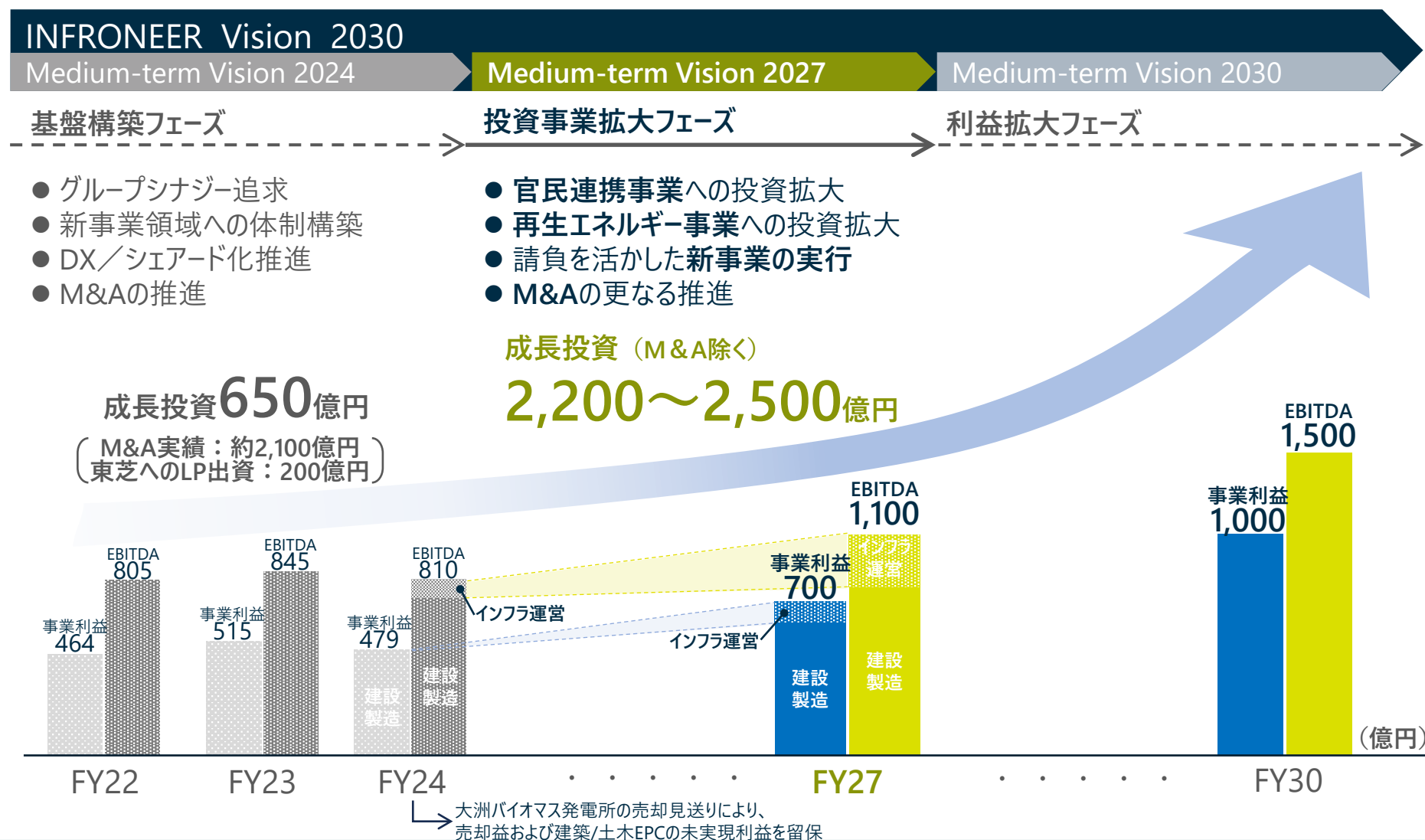
■ インフラ運営セグメントの業績目標の内訳

■ 資本戦略・還元方針

(INFRONEER Medium-term Vision 2027資料を基に掲載)

中期経営計画の位置づけ

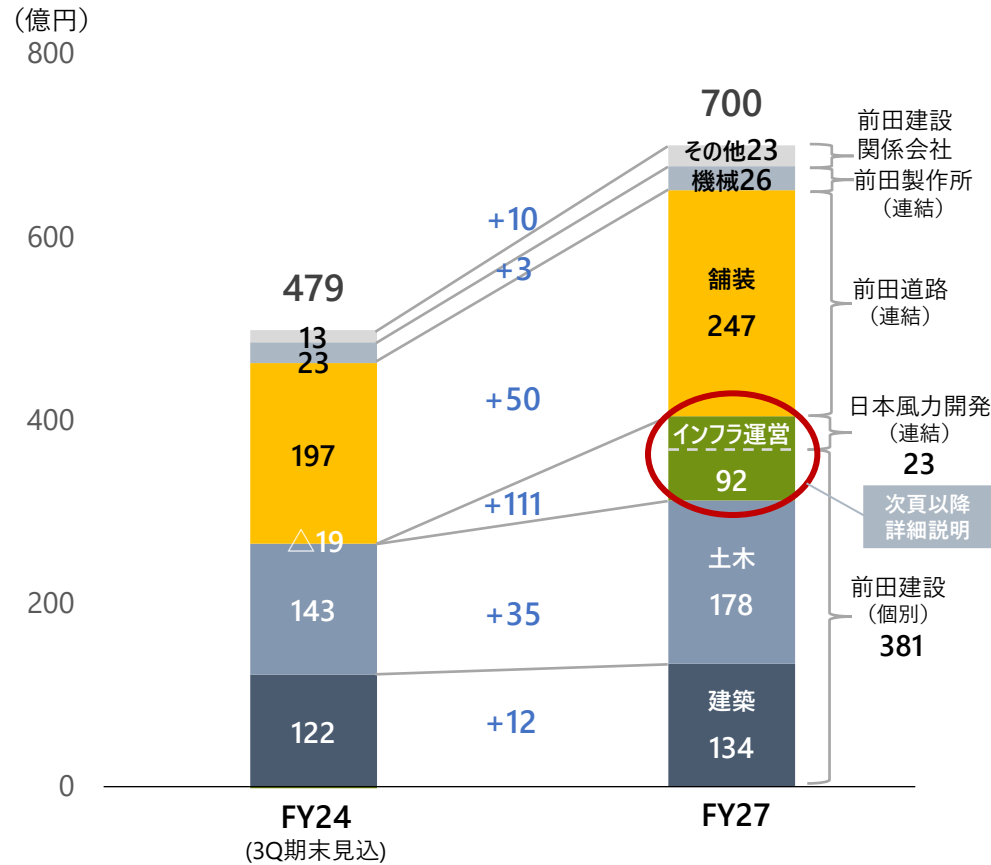
- Medium-term Vision2027は、投資を伴うビジネスモデルを加速させる『投資事業拡大フェーズ』と位置付ける
- 事業利益とEBITDAを重要指標とする



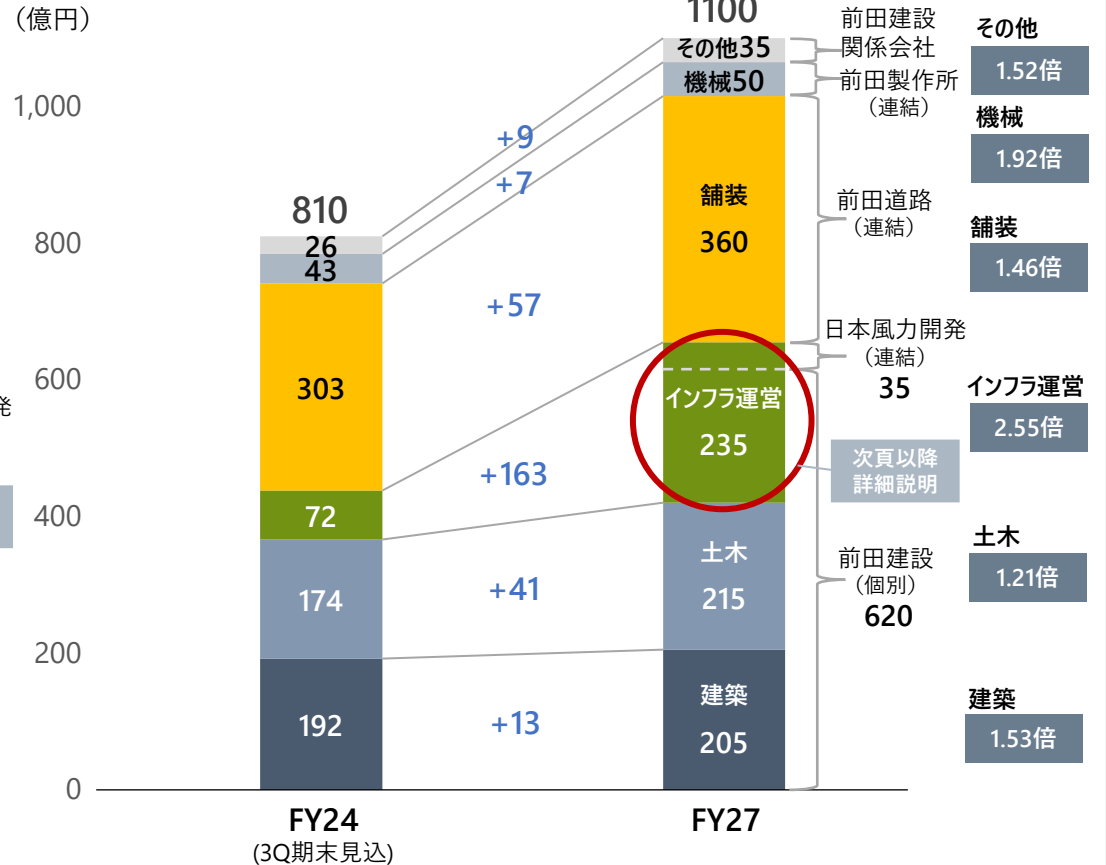
※ EBITDA=事業利益+減価償却費

セグメント別 業績数値目標 【事業利益・EBITDA】

事業利益



EBITDA



EBITDA/事業利益(倍)

その他	1.52倍
機械	1.92倍
舗装	1.46倍
インフラ運営	2.55倍
土木	1.21倍
建築	1.53倍

成長戦略

- 完工高3,400億円、受注時利益率9.0%
- データセンター、冷凍冷蔵倉庫、アリーナ建築
- 新事業企画（投資PJ・新商品開発）

- 完工高1,800億円、売上総利益率16.7%
- 成長領域（国土強靱化・防衛・エネルギー）
- 海外事業（バングラデシュセグメント事業）

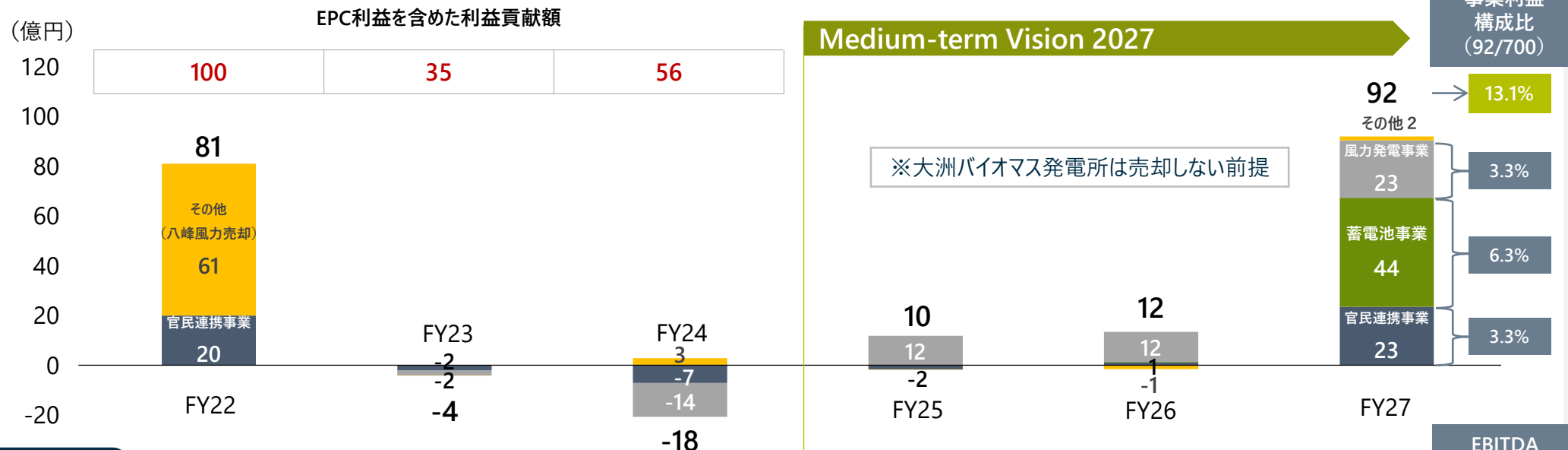
- 蓄電池：事業利益44億円、EBITDA 71億円
- 官民連携：事業利益24億円、EBITDA109億円
- 風力発電：事業利益23億円、EBITDA35億円

- 官庁工事の強化、受注時利益率向上：25億円
- AS仕入最適化、破砕部門収益向上：8億円
- 施工人員確保および合材シェア向上のための施策

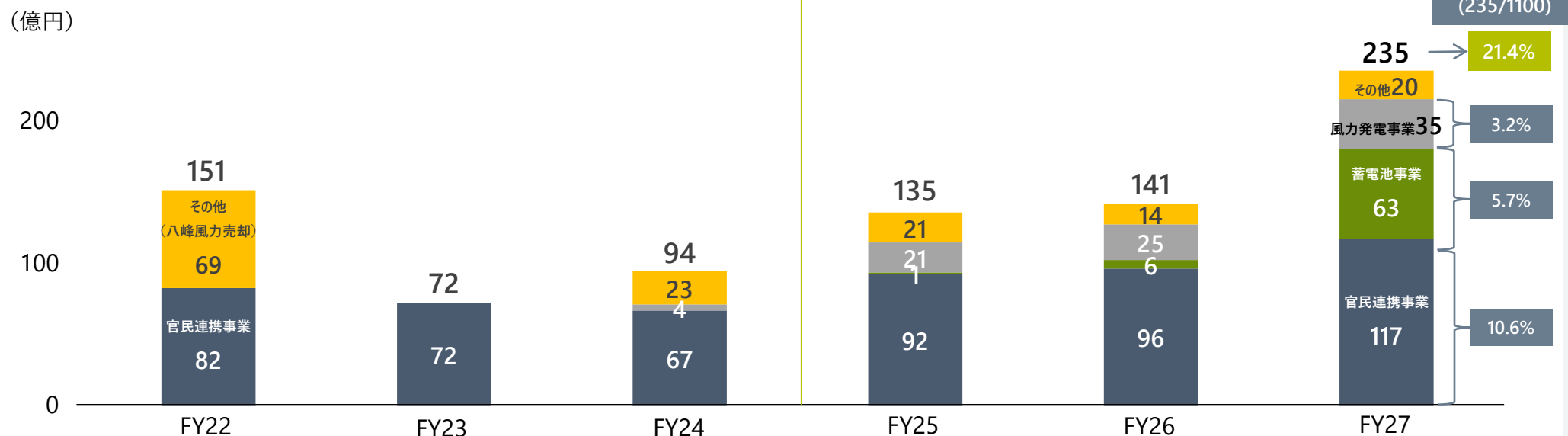
- フォークリフト事業エリア拡大：4億円
- クローラキャリア等の拡販：4億円
- 海外事業のエリア拡大：4億円

インフラ運営セグメント 事業分野別の業績数値目標

事業利益



EBITDA



資本戦略・還元方針

		Medium-term Vision 2024 【3Q時点期末見込】	Medium-term Vision 2027	
資本効率	ROE	7.6% (計画：9.5%)	9.0%	株主資本コストを上回る水準の維持
最適資本構成	自己資本比率	35.3% (計画：30%以上)	30%以上	財務健全性を維持しながら、効果的に有利子負債を活用
	D/Eレシオ	0.8倍 (計画：0.6倍以下)	1.0倍以下	
株主還元	配当性向	FY24 (計画) 30%以上	FY25~27 40%以上 下限配当 60円/株	配当性向の引上げに加え、下限配当を新たに導入 安定還元と利益成長の上振れにも期待
資産効率化	政策保有株/ 純資産割合	20%以下	保有ゼロ	政策保有株売却方針の推進
	保有不動産 の売却	-	FY25~27 100億以上	非効率な資産の売却・統合を検討

【注意事項】

本資料に記載されている業績数値は、億円単位とし四捨五入しております。
また、業績計画等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の数値とは異なる結果となる可能性があります。

インフラの未来に挑む
Challenge the status quo

 **INFRAONEER Holdings Inc.**